

ますます増える世界の孤児たちに希望の人生を

孤児院に入ってくる子どもたちは、HIVに感染している孤児もおり、両親がいない子どもはもちろん、生年月日の分からない子どもや、もし孤児院に来ていなければ間違いなくもう生きてはいなかったと思える子どもたちばかりです。

現在、礎の石孤児院では、カンボジア、フィリピン、ザンビアにおいて孤児たちを受け入れ、孤児院としての働きをしております。また、日本において児童養護施設設立の支援をしていきます。私たちは、さらに多くの国々で孤児院の働きを始めていきたいと願っています。どうぞご支援をよろしくおねがい致します。

支援金送付先

当団体は認定NPOの認可を受けており、皆様のご寄付は「寄付金控除」の対象になります。

郵便振替	【口座番号】 00130-5-24249 【口座名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院
銀行振込口座	みずほ銀行 五反田支店 【口座番号】 普通 2069305 【口座名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院
銀行振込口座	みずほ銀行 五反田支店 【口座番号】 普通 2915961 【口座名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院 日本での孤児院設立及び支援のため
郵便振替口座	【口座番号】 00120-5-417839 【加入者名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院 日本での孤児院設立及び支援のため

礎の石孤児院・会員(パートナー)募集中

私たちNPO法人「礎の石孤児院」では皆様のご支援金によって各孤児院の運営が支えられており、子どもたちが養われております。定期的に支援金をもって支えてくださる会員を募集しております。

- 会費:1口500円~/月 ●お一人様、何口でも寄付できます
- 会費の納入は【一括】もしくは【分割】を選択できます

お申し込みは郵便番号・住所・氏名・電話番号・メールアドレスをお書き添えの上、下記の住所またはEメールアドレスまでお送りください。(※正会員のお申し込みをご希望の方は事務局にお問い合わせ願います)

特定非営利活動法人 礎の石孤児院東京事務局
〒141-0031 東京都品川区西五反田1-14-1 クレインズビル岩崎201
TEL:03-5740-8814 FAX:03-5740-8817
E-mail:ishizue@athena.ocn.ne.jp

礎の石孤児院WEBSITE <https://cornerstone.or.jp>

f 礎の石孤児院のFacebookページを「いいね!」して活動を応援してください。

2022
01
2021年12月 第244号



自転車修理をしているお兄ちゃんの勇姿を眺めている子どもたち!(カンボジア孤児院)

新春のお慶び申し上げます。

昨年は、長引くコロナ渦にあっても、皆様には多岐にわたり様々な御支援、御協力を賜り本当にありがとうございました。

昨年末には、新種のコロナ株の発見等、まだまだ不安材料が取りざたされている中、この2022年が皆様にとって良き年となるよう願って止みません。

子供達とは言えば、皆様のお力によって心身ともに守られておりますことを、只々感謝致しております。

しかしながら、コロナを初めとする様々な予期せぬ問題によって、世界の多くの子供達が不安定な生活を強いられているのもまた事実であります。

この2022年も、私たちが手を伸べなければならない子供達が大勢いることを認識させられます。そして、一人でも多くの子供達を助けるためには、やはり皆様の御支援、御協力が必要であります。

本年も私共「礎の石孤児院」を何卒よろしくお願い申し上げます。

認定NPO法人 礎の石孤児院 理事長 北野 直人

カンボジア孤児院レポート

ルツ前田

チョムリアブスワ!(こんにちは!)『礎の石孤児院』の働きの為の皆様からのご支援とご協力を、心から感謝申し上げます。コロナの影響で2021年は休校が思った以上に長く続きましたが、このような中で11月中旬に高校受験を受けた2人の子ども達は、無事合格することが出来ました。嬉しい報告を皆様にお伝え出来ます事をとても嬉しく感じています。カンボジアは長かった雨季が明けて、1年で一番涼しい涼季が始まりました。毎日のように30度以上ある気温が現在(12/10)は30度を毎日のように切っていますし、朝方には22~3度にまで下がっています。温度差に敏感な子ども達もスタッフ達も、体調がこの時期守られますように願っています。M校は1月から新学期となり、小学生の登校が予定されています。大学生達も1人はすでに学校での対面授業が再開しています。ずっと職業訓練校での学びを待ち望んでいたCTは、現在ITの学びを専攻してITスクールでデザインを学んでいます。1人1人の学びが、さらに自立に向けて具体的なものとなって行くことを祈り願っています。2021年も、コロナ禍の中で皆様からの多くのご支援を頂きまして、本当にありがとうございました。



高校受験に無事合格したN(右)とS(左)の2人です!

ザンビア孤児院レポート

シオン桜子ムタレ

ムリシャーニ(お元気ですか)?皆様の日頃の尊いご支援に心より感謝申し上げます。ザンビアは12月8日に、今年度の授業を終了致しました。終了の日には、ボランティア達が準備してくれたご馳走で、クリスマスパーティーを開きました。振り返ってみれば、コロナによる休校や、その他様々な困難や挑戦が与えられた1年でしたが、多くの方に知恵を頂き、励まされながら一步一步進んでいくことができました。頂いたご寄付により、念願だった土地の購入にも至り、7~12年生が通うことができる学校建設を目指すという、大きな指針が与えられた事も、大きな恵みでした。現在、来年1月から、新たに孤児約20人を受け入れるための準備を進めています。来年には今ある老朽化した製粉場を改築して、新たに2つのクラスルームとカウンセリング室の建設を目指します。そのためには約60万円の必要がありますので、どうぞ引き続きご支援をよろしくお願い致します!



クリスマスパーティー

フィリピン孤児院レポート

エレノア・V・タイロス

今年のクリスマスシーズンは特別に楽しいものになりそうです。フィリピンでは10月1日に集会禁止制限が解かれたので、人々は子どもたちを連れて町へ出掛けている。制限は解かれても、政府はコロナウイルス感染拡大防止のために、様々な厳しい規定を設けています。何人かの就学支援生は既にワクチンを受けましたが、特に問題無く守られています。保護者の中には今後何らかの問題が起こったり、死亡するケースもあることを聞いてワクチンに反対している人たちもいます。まだオンラインとモジュールの授業が続いていますが、政府が選定したいいくつかの学校では2022年1月から校内での授業再開を予定しています。長年に渡りフィリピンの働きを支えて下さっている皆様に心から感謝致します。2022年も引き続きフィリピンの子どもたちのために皆様のご支援ご協力をどうぞよろしくお願い致します。



ワクチンを受けて証明書をもらった就学支援生

ブラジル孤児院レポート

松本弘子

皆様のご支援をありがとうございます。しばらく雨が降らなかったのが心配していましたが、ようやく時々雨が降るようになりました。一時期の40度の日々から考えると、とても過ごしやすいです。ブラジルでは累計で国民の10人に1人が新型コロナに感染し、60万人以上が亡くなりました。The Lancet というインターネットサイトによると、ブラジルはメキシコに続き世界で2番目にパンデミックによる孤児(11万人以上)を出したとされています。ブラジルの地元紙のネットニュースによると、親を亡くした子供たちは、裁判所の決定により一番近い親族に行くそうです。失業も深刻で、新たに子供を養育するために仕事ができなくなったとインタビューに答えていた方々もおられました。政府はそうした家族を経済的に援助するために方針を検討しているとのこと。さらに中南米の他の国々の法律についても調査しています。皆様のさらなるご支援をどうぞよろしくお願いいたします。



花が綺麗な季節になりました